

四條畷市教育委員会ニュース

(学校教育課)

内容：小学校の英語教育推進

- ・1年生から英語教育の充実
- ・四條畷小学校の英語学習
- ・文部科学省が東小へ視察

フォニックスを中心とした英語学習

小学校初期段階から英語教育の充実

平成 28 年度、四條畷市立全小学校では、1年生から6年生までの全学年で、英語の「音」と「綴り」の関係学ぶ「フォニックス」を中心とした英語学習を始めました。

今後、学習指導要領の改訂がありますが、その方向性として、小学校の5・6年生で英語が教科化され、外国語活動が3年生から実施、中学校では活用を中心とした英語教育への転換が検討されています。

これからを見通した英語教育への準備を早期から行えるようにと、昨年度までの四條畷東小学校での先行実践による反応や効果の検証を経て、市内の公立全小学校で実施となりました。

四條畷市英語教育推進事業 (平成28年度～)

平成28年度予算：635千円
(大阪府オリジナルDVD教材)

事業目的

グローバル化に対応した国際共通語としての英語によるコミュニケーション力の基盤を早期から築くため、全小学校の1年生から6年生までの全学年で、英語の「音」と「綴り」の関係学ぶ、いわゆるフォニックスを中心とした英語学習を行う。

小学校初期段階からの英語教育の充実

英語の4技能(聞く・話す・読む・書く)をバランスよく身につけるため、小学校1年生から、英語の「音」と「綴り」の関係学ぶ、いわゆるフォニックスを中心とした英語学習を実施する。



【学習指導要領の改訂の方向性】

- ✓小学校5・6年生での英語教科化
- ✓小学校外国語活動の3年生からの実施
- ✓活用中心の中学校英語教育

これらを見通した英語教育への準備を早期から行える！

四條畷東小学校での先行実践による反応・効果

低学年

- ・英語に親しんでいる
- ・発音も身につけている

中・高学年

- ・発音がよくなった
- ・楽しんでいる
- ・嫌がっていない

効果

- ・教えるよりも一緒に学ぶ
- ・教師も楽しみ
- ・楽しむことができる

高学年

- ・最初は解説しなくても本当に大丈夫かと心配だったが、単に見ているだけでも発音できるようになっている

お昼に限定して実施すること...

- ・決まった時間の実施による生活リズムの定着
- ・午後の授業に向けての脳の覚醒
- ・朝の会や朝学習、職員打合せの時間の確保

事業の実施方法

- 授業(教育課程)外の時間を活用し、原則、1回15分・週3回で実施する
- 実施時間は、各校の実情や児童の状況などに応じて、各校で設定する
- 英語を専門としない担当が、日本語による説明や教え込みを極力少なくし、原則、単独で指導する
- 大阪府が開発したDVD教材を用いて、フォニックスをはじめ、「歌・チャンツ」「読み書き」「ストーリー(テーマに応じた表現)」「アクション(行動と運動した表現)」などを学習年齢に応じて学習する
- 定期的に児童の学習状況を把握し、着実な定着をめざす
- 6力年の学習で習得する英語力は、英検5級相当をめざす(教材の設定に準ずる)

実施体制

- ・本事業のねらいを全教職員で共有
- ・推進教員を中心として、英語教育を推進
- ・小中学校で連携しながら一貫した英語教育を推進



フォニックスを中心とした英語学習

フォニックスを中心とした英語学習は、1回15分程度の活動を、週3回で実施することを原則としています。

教材は、大阪府が開発したDVDを用いて、繰り返し英語に触れ、自然に



大阪府が開発したDVD全6巻



英語を身に付けられるようグレードごとに1枚のDVDに、英語の物語、歌、ジングル等の学習素材が収録されています。

日常的な場面でのやりとりを中心としたアニメーション



実施時間は各校の実情や児童の状況などに応じて設定されていますが、概ね、昼休み後の午後1時40分～午後1時55分に実施し、学習年齢に応じた学習を展開しています。

小学校の6カ年の学習で習得する英語力は、英検5級相当をめざしています。

四條畷小学校の活動の様子

6月9日（木）、四條畷小学校（鉄寿広校長）の英語学習の様子を参観してきました。低学年の子どもたちは、DVDによる映像を毎回楽しみにしているようで、当日も大きな声で発音していました。高学年でも、予想以上に声が出ていると感じました。

「これまで継続してきて、発音が少しずつ良くなっているように感じる。」
「子どもたちに、当初、戸惑いもあったが、予想以上に熱心に取り組む姿を見て安堵しているが、発展的に指導するためにどうすればよいか、今後検討していかなければならない。」という先生の意見がありました。保護者からは、「英語学習が始まってから、子どもが家に帰ってきて楽しそうに習った英語を話してくれる。英語学習（フォニックス）の内容を詳しく知りたいので、学校だよりで知らせていただければありがたい。」等の意見を聞かせてもらいました。



国会議員が本市の英語学習に注目！



6月17日（金）、午後1時30分から四條畷東小学校に衆議院議員 浮島とも子氏をはじめ、文部科学省初等中等教育局国際教育課外国語教育推進室長や大阪府議会議員が、平成26年度から、大阪府英語教育推進事業の研究協力校として、実践研究を行ってきた同校を視察しました。本市の土井市長・藤岡教育長・市議会議員も同行し、「DREAM」授業視察の後、市長の挨拶、大阪府教育庁指導主事から事業説明と同校の市場成之校長から2年間の取組みとその成果について説明があり、出席者との意見交換がありました。

浮島衆議院議員からは・・・

「子どもたちがとても明るく元気で、これも『DREAM』の取組みの効果ではと思います。」との嬉しい言葉をいただきました。

市場校長からは・・・

「取組みを始める時には、必ず課題と悩みを感じると思います。しかし、シナリオがある安心感と、教師と一緒に楽しむことが大切。そうすれば、子どもたちに効果があります。そして、教師のスキルも向上します。」との力強い言葉がありました。

その他の意見には・・・

『読めた』『うれしい』という成功体験を積み重ねることができる良さがある。」等がありました。

